

吉備中央町立小学校・園統合再編整備基本計画

令和3年12月

吉 備 中 央 町

## 1 基本方針

吉備中央町は、少子高齢化の進行とともに人口減少が進む中、将来に向けた望ましい学校・園の適正規模、適正配置のあり方について調査研究を進めるため、令和元年7月26日に「吉備中央町立小学校等の適正配置に関する検討委員会」に諮問し、令和2年3月17日に答申を受けました。

そして、この答申を受け、令和3年1月26日から「魅力ある学校・園を考える会」において、吉備中央町の未来を担う子どもの育成のためにはどのような新しい教育環境の整備された小学校・園が必要なのか協議し、令和3年10月8日に「小学校及び園の統合のあり方についての指針」を受けました。

現在、町内4小学校においては複式学級となり、今後ますます児童数は減少すると予想されます。

このような中、約11,000人の人口規模を考えると、一挙にすべての小学校・園の統合再編も考えられますが、それぞれに長い歴史と文化を培ってきた過程や広域な地形、地域性等の面から課題も大きいとの懸念もあり、次の基本的な考えに立って学校・園の配置を行うことといたします。

## 2 小学校・園の考え方

小学校においては、全児童が社会の将来の担い手となるよう「生きる力」を育むため、基本となる確かな学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成などの資質能力をバランスよく身に着ける教育に努め、園においては、生涯にわたる人間形成の基礎が培われる重要な時期であることを念頭におき、園児一人ひとりの発達に応じたきめ細やかな指導に努めることとします。

そして、集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することができ、同時に手厚い指導に努め、今後さらに子育てや定住促進などの施策を充実させることで、より良い教育環境を実現するために、次のような魅力ある学校・園の整備を進めます。

### (1) 郷土愛を育む学校づくり（吉備中央町ふるさと学）

- ・ 町内の伝統や文化を尊重し、郷土を愛する心を育む教育の充実
- ・ 地域の人とつながり、地域の人から学ぶ活動の実践
- ・ 故郷を大事に思い、地域の未来を担う子どもを育てる教育
- ・ 地産地消の推進及び食文化の継承を取り入れた美味しい給食の提供

(2) 未来を担う子どもの成長を支える学校づくり

- ・ 基礎的・基本的な学力を身につけ、主体的に学ぶ子どもの育成
- ・ 豊かな人間性や社会性の基礎を育む取組みの推進
- ・ 安全安心で、心豊かに育つ教育
- ・ 多くの人と関わり、切磋琢磨することによる学力等の底上げと更なる向上につながる教育

(3) 多様な学びができる学校づくり

- ・ 小小・小中連携の促進と、教科担任制の実施
- ・ 専門性を持った外部人材を活用した指導
- ・ 情報通信技術（ICT）を活用した指導
- ・ 地域の伝統行事や自然、農業などの体験活動を通じた、豊かな人間性や生きる力の育成
- ・ 運動、音楽、芸能など多様な分野の教育
- ・ 個性を尊重し、個々の成長に応じたきめ細やかで手厚い指導や支援を行う教育

(4) 地域等と連携したアフタースクールが充実した学校づくり

- ・ 教科に関する内容（算数、書道、そろばん、英語など）
- ・ 郷土学習に関する内容（伝統、祭り、歴史、自然、偉人など）
- ・ 実技に関する内容（スポーツ、ミュージックなど）

(5) 保護者に寄り添った園づくり

- ・ 将来はすべて認定こども園とする
- ・ きめ細やかで丁寧な指導と、小学校への滑らかな接続

### 3 小学校・園の適正規模

(1) 小学校について

町域の広い本町において、1校への統合は保護者、児童への負担が大きいため、集団の中での学習が保たれるように3校に再編して、多様な考えに触れることができることに合わせて、手厚い教育環境を維持します。

## (2) 園について

園については、1学級15人程度を目安としたクラス編成が望ましいが、できるだけ保護者に寄り添った園づくりとなるように再編します。

## 4 学校・園統合再編整備基本計画の骨子

### (1) 整備時期

幼稚園及び保育園については、認定こども園に移行したのち、令和6年4月1日に開園とします。

小学校については、令和7年4月1日に開校とします。

### (2) 統合再編の整備内容

#### (小学校)

小学校については、現在の円城小学校、吉備高原小学校及び豊野小学校の位置へ設置し、3校とします。

#### (幼児施設)

認定こども園については、現在の円城幼稚園、豊野保育園及び大和保育園の位置へ設置し、吉備高原こども園を含め4園とします。

### (3) 校園名・校園章・校園旗・校園歌など

校園名・校園章・校園旗・校園歌は、学校・園の象徴として児童生徒の一体感を醸成する重要な役割を果たすため、開校園までに、学校・園等関係者において、吉備中央町立学校・園統合再編準備委員会を設置し定めます。

### (4) 通学区域並びに通学対策方法

通学区域は、原則として、円城小学校区（仮称）は現在の津賀小学校、円城小学校、御北小学校区の全区域を指定し、吉備高原小学校区（仮称）は吉川小学校、大和小学校、吉備高原小学校区の全区域を指定し、豊野小学校区（仮称）は上竹荘小学校、豊野小学校、下竹荘小学校区の全区域を指定し通学区域と定めます。

また、通学方法としては、児童の通学の安全の確保に努めるため、スクールバス等による遠距離通学対策を行うように努めます。

また、こども園においては、乳幼児の安全確保の観点から保護者送迎とし、現在スク

ールバスを運用している幼稚園児については研究課題とします。

5 学校・園統合再編整備に向けたスケジュール

時 期	内 容	備 考
令和3年12月	吉備中央町立小学校・園統合再編整備 基本計画の提出	議会定例会提出、議決
令和4年 1月～	吉備中央町立小学校・園統合再編整備 基本計画住民説明会の開催	各会場
令和4年 3月	吉備中央町立小学校・園統合再編整備 予算措置	議会定例会提出、議決
令和4年 6月	吉備中央町立小学校・園統合再編準備 委員会開催 専門部会での検討	
令和4年 7月～	校園増改築設計及び工事着手	
令和5年12月	吉備中央町保育所条例、町立認定こども園条例等の改正	議会定例会提出、議決
令和6年 3月	閉園式	
令和6年 4月	こども園開園式	
令和6年12月	吉備中央町立学校設置条例等の改正	議会定例会提出、議決
令和7年 3月	閉校式	
令和7年 4月	開校式	



